

2004 年度夏季合宿

北海道シーカヤック航行合宿

49 代片岡賢佑

隊員構成 CL 岡崎 崇(47代 / 3回生) 片岡 賢佑(49代 / 1回生)
木下 祐作(49代 / 1回生)、林 謙一郎(49代 / 1回生)
合宿地 北海道 小樽～函館(約 470km)
期間 2004 年 8 月 17 日～9 月 9 日

この合宿は 2004 年の 8 月 17 日から 9 月 9 日にかけて行われた、北海道の小樽～函館の 470km をシーカヤックで航行する合宿である。小樽を出発して積丹半島を通過、奥尻島を右に見ながら松前半島に向けて南下し最後に函館到着という合宿であり、壮大な景色

を見ながらの透明度の高い海水での航行、夏真っ盛りながらも北海道での合宿は朝晩では寒い程であり、おまけに食べ物が非常に美味しいという、これらの点だけ見ると至れり尽くせりと思える合宿であった。



隊員は 4 名中 CL こそ当時 3 回生だったが他の 3 名はまだ入学したての 1 回生であり、特に内 2 名はこの合宿の直前に北アルプス沢登り、直後に四国吉野川航行と過密なスケジュールであった為、それぞれの合宿に向けての練習が不足しており、この合宿に関しても例外ではなかった。

航行初日から慣れない海での航行に船酔いに悩まされ、慣れないダブルパドルで肩が上がらなくなり、それでも頑張ってこぎ続けたところを雷雨に襲われ一時避難と、出だしからまるで不吉な未来を暗示するかのようであった。

その後も風力発電される程の強い向かい風、まるで川を遡っているかのような潮の流れ、朝夕になると我々の荷物を荒らしにどこからともなく現れるカラス等に翻弄されつつも、何度も様子を見に来て差し入れまで下さった海上保安庁の方、台風が北海道を直撃したときに家に泊めて下さった方や、すれ違ったときにスルメを下さった漁師の方、他にも色んな人達に助けられて航行を進めていった。



しかしながら、札幌市でそれまでの観測史上最高となる最大瞬間風速 50.2m/s を観測した 2004 年の台風 18 号によってあっけなくこの合宿は終了



を余儀なくされてしまった。

今合宿中に台風が北海道に接近若しくは上陸したのはこの時点で既に 3 回目であり、最早日程に一日たりとも余裕は無かった為の合宿継続断念である。

上記の通りこの合宿はあと一步のところだったにせよ失敗に終わっているのだが、それでも当時参加した 1 回生、つまり現 4 回生にとっては今でも非常に印象深い合宿であり、長期間の合宿の辛さや楽しさを学んだ、正に原点とも言っていい合宿だったので敢えて 2004 年度を代表する国内合宿この合宿を選ぶに至った。

※この合宿の経験が 37、38 ページに掲載されている、2004～2007 年間で海外遠征を差し置いて最も厳しかったと断言できるあのアラスカ遠征訓練 五川一湖航行合宿へとつながった。
(49 代現役)